
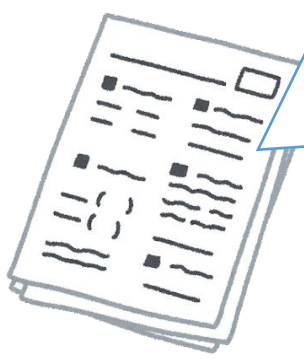


算数／数学

イメージする・想像する

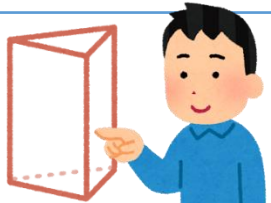
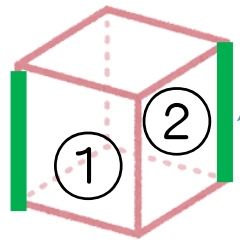
<困難さ>	<指導の工夫の意図>
計算手順をイメージできず 立式することが難しい	計算の順序や 数字を書く場所が分かりやすいように



<手立て>	
<p>① 視覚的に手順を示す</p> <ul style="list-style-type: none"> 公式のカードや手順表を活用する  <p>ポイント！ 四則計算の順序や（ ）の特性、公式の特性などをカード等で視覚的に示す。計算する順序を①、②等と示すことで計算の手順を捉えることができるようになる。</p>	<p>② 手順が示されたワークシートを活用する</p> <ul style="list-style-type: none"> 計算手順が分かるようなワークシートを用意する。  <p>ポイント！ 計算手順が示され、問題文に書かれた数字を記入することで手順が理解しやすくなる。ワークシート内のヒントを徐々に減らしていくことで計算手順の理解を深めることができる。</p>

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
空間図形を立体的にイメージできず 性質や特徴を理解することが難しい	空間における直線や平面の位置関係を イメージできるように





<手立て>	
<p>① 立体模型で特徴のある部分に触れる</p> <ul style="list-style-type: none"> 奥行や角など平面では捉えにくいいため、実際に模型などを提示し、特徴のある部分に触れる。  <p>ポイント！ 直接触れることで立体の形を捉えることができる。見る角度によって見え方が異なることを理解することができる。</p>	<p>② 平行な辺や向かい合う面に色などをつけて見比べる</p> <ul style="list-style-type: none"> 立体で示された図形の辺に色を付けたり、面に数字を付けたりする。  <p>ポイント！ 記号や場所を示す言葉での指示では難しいと考えられるので、色を付け、視覚的に示して見比べることで空間図形の性質が捉えやすくなる。</p>

イメージする・想像する

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
「商」や「等しい」等の言葉の理解が難しい	言葉の意味について具体的なイメージをもてるように

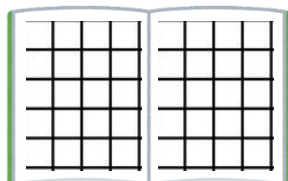
<手立て>

<p>① 本人の分かりやすい言葉に置き換える</p>	<p>② 実際に具体物を操作することで、言葉の意味を実感できるようにする</p>
<p>・ 普段、生活で活用している言葉を使う。</p>  <p>ポイント！ 聞き慣れない言葉の概念形成は難しいことが考えられるので、「等しい」は「おなじ」、「商」は「分ける、分けられる数」など生活で活用している言葉を使うことで取り組みやすくなる。</p>	<p>・ 具体物を操作することで「商」や「分数」などの言葉の意味を実感することができる。</p> <p>ポイント！ 文章題を読んで立式したり、答えをイメージしたりすることが苦手であると考えられる。身近なものを実際に人数で分けたり、切ったりすることでイメージしやすくなる。</p> 

書く・書きとる

<困難さ>	<指導の工夫の意図>
筆算式では位を揃えて書くことが苦手で正しく計算することが難しい	計算の順序や数字を書く場所が分かりやすくなるように

<手立て>

<p>① マス目のあるノートを使用する</p>	<p>② 筆算の順序を数字と枠で図示したカードを活用する</p>
<p>・ マス目のあるノートを使い、計算の順序や位取りを確認しながら計算に取り組むようにする。</p> <p>ポイント！ マス目の無い紙で問題を解くと順序が分かりにくく、筆算等の位取りが難しい。マス目のあるノートを使用することで計算の順序や位取りの理解を深めることができる。</p> 	<p>・ 立式や計算の順序のポイントが書かれた手順カードを活用する。</p> <p>ポイント！ 計算の順序が分からない場合には、立式や計算の順序のポイントが書かれたカードを提示する。自分で確認しながら問題を解くことができ、計算のルールなどの理解を深めることができる。</p> 